

福岡和白病院で変形性股関節症に対する 保存的治療(PSPT-R セラピーなど)を 受けられた患者様へ

当院 関節症科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を経て、病院長の許可を受けて実施しています。

| | |
|-------------------|---|
| 研究課題名 | 痛みのタイプと PSTP-R セラピーの潜在的な痛み低減効果の関連を探る後ろ向きコホート研究 |
| 当院の研究責任者(所属) | 林 和生(関節症科 部長) |
| 本研究の目的 | 変形性股関節症の患者さんにおいて、痛みのタイプ(起立時痛・歩行時痛など)によって保存療法(PSPT-R セラピー等)の治療効果や経過が異なる可能性があります。 本研究では、診療録に記載されている情報を用いて、初診時の痛みのタイプとその後の治療経過との関連を検討し、より適切な治療選択に役立てることを目的としています。 |
| 調査データ該当期間 | 西暦2020年 1月 1日 ~ 2025年 8月 31日 |
| 研究方法 | ●調査の対象となる患者様● 2020年1月1日～2025年8月31日に福岡和白病院関節症科において、変形性股関節症に対する保存的治療(PSPT-Rセラピーおよび安定型靴・インソールによる後足部安定化・アライメント調整セラピー)を受けられた方 【電子カルテに記載のある診療情報】 <ul style="list-style-type: none">● 年齢、性別、身長、体重、既往歴などの基本情報● 初診時に実施した痛みフェノタイプに関する問診票の内容(起立時痛・歩行時痛の分類および日内・日差パターン)● 初診時に実施した10m歩行テストにおける歩行速度および歩数● Harris Hip Score(HHS)● HHS Pain Score● Timed Up and Go Test(TUG Test)● Kellgren- Lawrence(K/L)grade● 治療後の評価として、初診時、3か月後、6か月後の診療録に記載された臨床評価指標● 生年月日のうち年月情報のみ |
| 個人情報の取り扱い | 研究に使用する情報は、氏名や住所などの個人を特定できる情報を削除し、研究用の識別コードを付して管理します。また、研究結果を学会や論文等で発表する場合にも、個人が特定されることはありません。統計解析を行う際には、匿名化されたデータのみを外部専門家へ提供し、個人情報が外部に提供されることはありません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |

| | |
|---------|---|
| 研究代表者 | 研究代表者： 福岡和白病院 関節症科 部長 林 和生 |
| お問い合わせ先 | 福岡和白病院 電話：092-608-0001(代表) 研究責任者：林 和生 |